

⑨日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑪公開特許公報 (A)

昭54-65528

⑫Int. Cl.³

識別記号

⑬日本分類

庁内整理番号

⑭公開 昭和54年(1979)5月26日

G 03 B 27/32

103 C 21

6239-2H

G 03 B 21/11

103 D 1

6401-2H

G 03 G 15/00

103 K 12

6805-2H

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 11 頁)

⑮可変倍率リーダー・プリンター装置

⑯発明者 斎藤英一

⑰特 願 昭52-132251

横浜市緑区たちばな台2の9の

⑱出 願 昭52(1977)11月4日

1

⑲発明者 山崎貞一

⑳出 願 人 富士ゼロックス株式会社

東京都世田谷区羽根木町一丁目
12-5

㉑代理人 弁理士 米原正章 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

可変倍率リーダー・プリンター装置

2. 特許請求の範囲

フィルム10の映像をスクリーン2、感光体32のどちらか一方に投影できるようにしたり、リーダー・プリンター装置において、フィルム10が読取されるフィルム駆送台18を駆動する電動機57を電源機構を介して動力源に接続し、投影倍率の倍率を変更する第1・第2拡大レンズ20、20のどちらか一方を所定位置に移動切替可能に構成すると共に、読取1・第2拡大レンズ20、20の切替手段と前記電源機構とを相互に連動して切替作動する如く機械的に連係したことを特徴とする可変倍率リーダー・プリンター装置。

3. 発明の詳細な説明

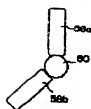
本発明はスクリーン上にマイクロフィルムの像を投影して、観察し、また投影を消去してマイクロフィルムと感光体を移動しながらマイ

クロフィルムの像を感光体に投影して写取する可変倍率リーダー・プリンター装置に関するものである。

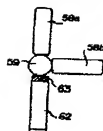
一般に、マイクロフィルム(以下フィルムとする)の撮サイズに関する規格は幾多の種類がある。またフィルムは被写体の種類、大きさに伴って撮サイズの減少率が必要なり、このためフィルムに記録された画素のサイズが一定していない。また被写体用紙として異なる大きさを撮ぶことができる場合、必要とする投影拡大倍率が必要なり一定しない。

1例として、マイクロフィッシュフィルムの場合として広く利用されているNMA(National Microfilm Association)またはANSI(American National Standard Inc.)のA1規格の1巻の大きさは10×12.5mmであり、また同A2規格では11.75×16.5mmである。従って210×297mmの大きさをもつJIS A4用紙の文書を被写体としてNMA-A1規格に適合する撮サイズの減少率を2.5分の1とすれば1巻の

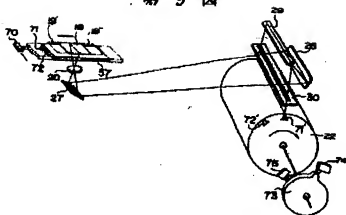
第 8 図



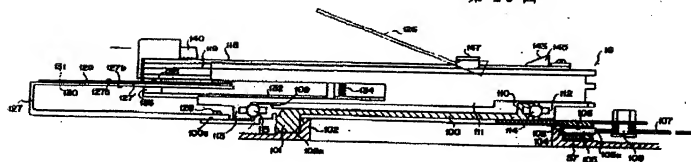
第 7 図



第 9 図



第 10 図



第 12 図

